

移住者と連帯する全国フォーラム2025 in 北関東

6月21日(土)

12:00～ 受付開始

13:00～14:45 全体会

1日目

基調講演

差別と偏見に脅かされるクルド人コミュニティ
安田浩一さん(ノンフィクションライター)



週刊誌記者を経て 2001 年よりフリーランス。事件・社会問題を主なテーマに執筆活動が続ける。『「右翼」の戦後史』(講談社)、『ルポ 差別と貧困の外国人労働者』(光文社)、『ヘイトスピーチ』(文藝春秋)など著書多数。最新刊は『地震と虐殺 1923-2024』(中央公論新社)。

人種差別撤廃法・条例の制定にむけて
～到達点と課題

師岡康子さん(弁護士)



東京弁護士会外国人の権利に関する委員会委員、外国人入国法連絡会事務局、早稲田大学非常勤講師、人種差別撤廃 NGO ネットワーク共同世話人、国際人権法学会理事。主著に「ヘイト・スピーチとは何か」(岩波新書)。

15:00～17:00 分科会

- ① 入門編 ② 労働 ③ 技能実習
- ④ 医療・福祉・社会保障 ⑤ 子ども・若者
- ⑥ 自治体施策 ⑦ 人種差別・ヘイトスピーチ

17:30～19:30 交流会

6月22日(日)

9:00～11:30 全体会

2日目

非正規滞在者の蝕まれる健康と深刻なる医療
長澤正隆さん(北関東医療相談会)

移民社会に提案する
「外国人・民族的マイノリティ人権基本法」
丹羽雅雄さん(外国人入国法連絡会・弁護士)

カボエイラ・アンゴラ
Tribo da Lua Oizumi

フィールドワーク

県立公園 群馬の森(朝鮮人追悼碑跡地視察)

日 時: 6月20日(金) 14:00～16:00

集 合: JR 高崎駅東口

参加費: 2,000 円

定 員: 25 名(定員に達し次第、申込締切り)



写真提供: 松本浩美

『移住者と連帯する全国フォーラム 2025 in 北関東』開催について

日本社会は様々な分野において外国人労働者の存在が不可欠となっており、あわせてその家族も社会の一員となっています。しかし、その一方で外国人に対する差別や偏見、ヘイトスピーチの横行など外国人の人権が脅かされています。

『移住者と連帯する全国フォーラム』は 1996 年に福岡市で第 1 回が開催されて以降、国内各地で開催されてきましたが、14 回目を数える次の全国フォーラムは北関東(高崎市)で開催する運びとなりました。多民族・多文化共生社会の構築に向けて交流・討議する中から、そうした社会への理解を深め、誰もが安心して暮らせる社会にしたいと考えます。趣旨をご理解いただきイベントへのご協力をお願いいたします。

賛同金のご協力をお願いします。

団体一口 5,000 円 個人一口 1,000 円

振込先: ゆうちょ銀行 口座番号 00280-5-107184 (名義: 交通ユニオン)

問い合わせ: 交通ユニオン

(高崎市下和田町 5-4-3 TEL 027-321-5544 FAX 027-322-4540 E-mail kotsu.union@gmail.com)